

平成7年のマツタケ発生状況について

平成7年秋の野生きのこの状況は夏から秋の干ばつが災して種類、量ともに貧弱な状況となり、ひとりベニテングタケのみが目につく有様でした。マツタケも類を免れず平年を下回る不作の年でした。

現在当所では県下5カ所に試験地を設け、環境改善施業とマツタケ発生との関係を調査していますが7年の結果は次のとおりです。

調査歴の長い豊丘村試験地での結果は表-1のとおりで、対照区、施業区ともに平均値を下回りました。また、ここでの気象観測結果を図-1に示しましたが、春から夏にかけての地温の上昇や梅雨期の降雨量は順調だったと判断されるものの、夏から秋にかけての干ばつ状態が不作の主因と考えられました。

また、原基形成期である9月中旬にタイミングの良い降雨が得られていますが、表-2の月別降

表-1 豊丘村試験地マツタケ発生本数の推移

年度	対 照 区		施 行 区	
	シロ数	発生本数	シロ数	発生本数
S. 55	6	154	8	61
56	6	148	9	224
57	7	267	13	327
58	8	379	13	421
59	8	103	13	110
60	8	219	14	342
61	8	135	14	248
62	8	92	14	154
63	8	380	19	592
H. 1	8	110	19	163
2	8	147	19	228
3	8	205	20	413
4	8	0	20	3
5	8	211	21	344
6	8	60	21	74
7	8	80	21	170
平均		168.1		242.1

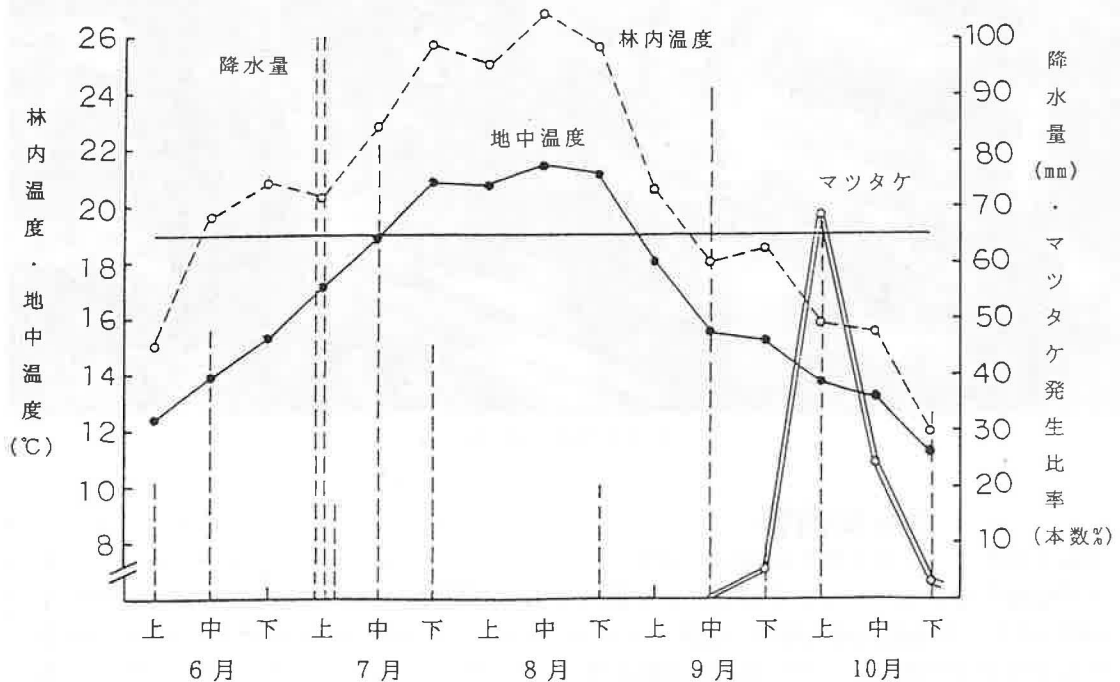


図-1 平成7年度マツタケ発生経過と気象条件（豊丘村試験地）

雨量と発生の関係からみると絶対量が不足していたと判断されます。

豊丘村以外の試験地の結果を表一3に示しましたが、松川町が例年並であっただけで他は昨年と同様の不作状況でした。

長野県のマツタケ産地では恒常的に秋の干ばつが発生を不安定にしており、11月のシンポジウムでもこの点が指摘されましたが、原基形成期の土壌水分の供給が今後の大きな研究課題と言えましよう。(特産部 小出)

表一2 豊丘村試験地における月別降水量とマツタケ発生本数の相関

年	月	月 別 降 水 量 a					合計	マツタケ発生本数 b	
		6	7	8	9	10		対照区	施業区
S. 57	57	28	192	239	345	42	846	267	327
	58	71	145	75	343	85	719	379	421
	59	156	72	53	72	29	382	103	110
	60	198	177	69	153	75	672	219	342
	61	86	109	128	84	38	445	135	248
	62	65	101	52	82	66	366	92	154
	63	294	130	128	395	85	1032	380	592
H. 1	1	222	144	94	405	97	962	110	163
	2	51	85	24	224	112	496	147	228
	3	195	122	40	287	278	922	205	413
	4	76	80	37	52	170	415	0	3
	5	181	278	163	239	90	951	211	344
	6	31	31	23	71	25	181	60	74
	7	71	342	20	102	100	635	80	170
a、bの 相関 対照 係数 施業		0.380 0.537	0.199 0.270	0.510 0.455	0.734 0.709	-0.069 0.172	0.657 0.744	— —	— —

表一3 その他試験地におけるマツタケの発生状況

区分	年度	7月		8月		9月		10月		11月	合計		発生シロ数	
		中	下	上	中	下	上	中	下	上	本数	kg	現在シロ数	
辰野町	5	—	—	—	—	—	—	2	1	—	3	0.7	1/1	
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0/1	
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0/1	
上田市	5	15	7	2	—	—	9	—	13	61	22	—	6/6	
	6	—	—	—	—	—	—	—	2	25	43	11	5/6	
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	1	34	15	4/6	
塩尻市	5	夏期発生あるも未調査				6	68	53	13	2	—	141	11.0	19/24
	6	—	—	—	—	—	—	14	28	12	1	55	3.2	11/24
	7	—	—	—	—	—	—	15	31	21	7	74	3.9	16/24
松川町	5	—	—	—	—	—	—	22	7	1	—	30	—	8/8
	6	—	—	—	—	—	—	—	1	2	1	4	—	2/8
	7	—	—	—	—	—	—	—	17	11	2	30	—	8/10